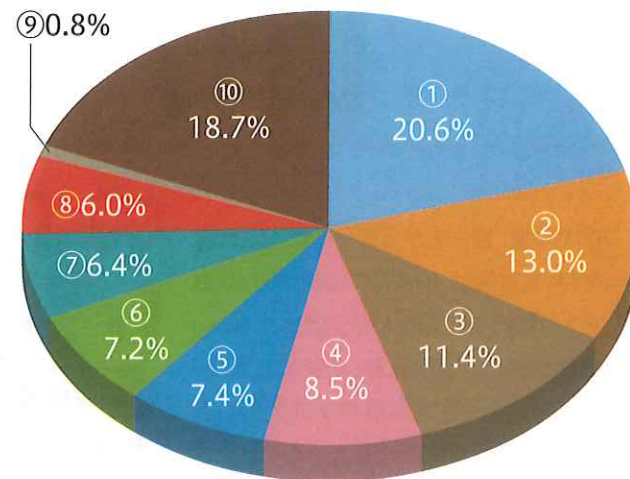


2019年度 活動資金の使いみち

皆さまからお寄せいただく資金(寄付)で、次の活動を行います。

①	災害救護活動と体制強化、救護看護師の養成のために	97,693千円	20.6%
②	市町村の赤十字活動のために(地域奉仕団の活動など)	61,400千円	13.0%
③	全国的な赤十字活動のために(海外の紛争や災害に対する緊急対応を含む)	54,184千円	11.4%
④	健康・安全のための知識と技術普及のために	40,125千円	8.5%
⑤	災害救護関連施設等の維持管理のために	35,204千円	7.4%
⑥	活動募金の募集のために	34,107千円	7.2%
⑦	青少年赤十字・ボランティアの養成のために	30,500千円	6.4%
⑧	赤十字活動の広報強化のために	28,501千円	6.0%
⑨	国際支援活動のために	3,589千円	0.8%
⑩	活動の運営管理のために(国内災害に対する緊急対応を含む)	88,577千円	18.7%

合計 473,880千円



500円の支援で25人の命が救える

赤十字の活動は、国や県の補助に頼ることなく、活動資金(寄付)を唯一の財源としています。あなたのご支援で次の活動を実現することにより、多くの人々を救うことができます。



動画で見る
赤十字活動



たとえば **500円の寄付で**
風邪の症状で、多くの子どもが命を落としている国や地域に「小児用シロップ薬」25人分を届けて尊い命を救えます。



たとえば **2,000円の寄付で**
被災者の方に避難所で少しでも快適にお過ごしいただくために、「安眠セット」を1つ届けます。



たとえば **10,000円の寄付で**
紛争被害から逃げ出した子どもたちに、極寒の気候から身を守るための「防寒着」を5着届けます。

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。
なお、本受領証は、免税証として利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社
茨城県支部 組織振興課
電話 029-241-4516

〈ご注意〉
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この払込書は、ATMでは使用できません。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

町内会・自治会を通してご協力のほか、ご都合にあった方法で受付けております。
この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。

続ける



苦しむ人びとを、救い続ける。

想像してみてください。
災害により、幸せな暮らしが一瞬にして奪われてしまった人たちのことを。
紛争や貧困により、いのちの危機に瀕している人たちのことを。

日本赤十字社は、国内救護、海外救援、防災・減災の普及啓発など様々な活動を通して、救うことを続けています。
こうした活動はすべて、皆さまからの会費とご寄付によって支えられています。
皆さまのあたたかい想いと共に。
苦しむ人びとを、救い続ける。

日本赤十字社 茨城県支部
Japanese Red Cross Society

〒310-0914 水戸市小吹町2551 TEL.029-241-4516

日赤 救うことを、つづける。 検索

苦しむ人々を、 救い続ける。

2018年

6月 大阪府北部地震

7月 西日本豪雨災害

9月 北海道地震



あなたのご支援を必要としています。

昨年、日本各地で発生した災害により、多くの方々の幸せな暮らしが一瞬にして奪われました。

日本赤十字社では、全社を挙げて救護活動に取り組み、昼夜を問わず被災者に寄り添い、救うことを続けました。

こうした活動はすべて、皆さまから寄せられた活動資金(寄付)により支えられています。

活動資金にご協力をお願い申し上げます。



西日本豪雨災害



大阪府北部地震



北海道地震

西日本豪雨災害

災害に備える

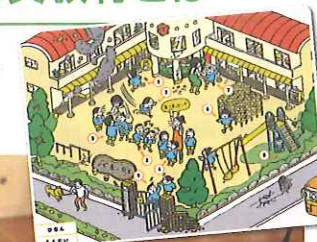
2019年度、皆さまから寄せられる活動資金(寄付)を財源に、県内全ての幼稚園・保育所 約860園、86,000人の子どもたちへ、教材を配布し、「防災教育」を実施します。

また、一般県民へ「防災啓発プログラム」を実施し、災害への備えを充実させます。



幼稚園・保育所向け防災教材とは

子どもたちが楽しみながら、災害から身を守る行動を学べる教材です。



大子町立大子幼稚園での防災授業

CROSS + MESSAGE



これまでの人生経験を通して「慈愛」の心で人と接する事の大切さを知り、社会貢献として日本赤十字社茨城県支部へ寄付しています。今後も、国内外で災害や紛争で苦しむ多くの方々のために赤十字活動を支援したいと考えております。

長久保 伸江 様
(活動資金協力者)



西日本で発生した豪雨災害では、こころのケア要員として、広島県呉市で活動しました。このような活動が行えるのも、県民の皆さまから寄せられる温かなご支援のおかげです。引き続きご支援をよろしくお願い致します。

林 千晶
(水戸赤十字病院 看護師長)
(救護要員・こころのケア指導者)

皆さまのご寄付が活動の財源です

町内会・自治会を通じたご協力のほか、ご都合にあった方法で受付けております。

▶ 払込票を利用して ▶ 市町村の福祉課の窓口で ▶ インターネットで 日赤 寄付 検索
(クレジットカードによる協力など)

被災者の声

西日本豪雨災害の被災者から感謝のこトバを頂戴しました。

この言葉は、日赤を支援する皆さまへの感謝の言葉です。



避難所で医療チームに足のけがを診てもらいました。対応が早く、親切にしてもらいました。これからも社会に貢献する日本赤十字社であって欲しいです。
富岡栄作さん(54才)



糖尿病なのですが、避難所に医療チームの方々がいてくれて安心して過ごせました。日本赤十字社はいろいろな支援をされていて頼もしいです。
鈴木登清子さん(77才)

数字で見る日本赤十字社の活動 大阪府北部地震、西日本豪雨災害、北海道地震の各災害の対応実績の合計数



派遣した
医療チーム

155班



取扱患者数

3,600人



派遣した
こころのケア班

88班



こころのケア
対応者数

1,570人



活動した
赤十字ボランティア

1,983人



救援物資配布数

18,253個

この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。機会がございましたらご利用いただくと幸いです。

99	東京	払込取扱票									
口座記号番号		金額									
001000		789872									
日本赤十字社茨城県支部		料金 備考 免									
おとこ・おなまえ											
ご依頼人・通信欄											
お電話番号											
どこでこのチラシを手にしましたか?											
☐ 市報・町内会回覧 ☐ イベント ☐ 献血会場 ☐ 赤十字講習(救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習) ☐ その他											
日附印											

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第53203号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001000									
金額	789872									
日本赤十字社茨城県支部										
ご依頼人										
料金	備考 免									
日附印										

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
この受領証は、大切に保管してください。